

会 議 記 録

会 議 名 称	第 112 回杉並区文化財保護審議会
日 時	令和 7 年 2 月 7 日（金）午後 2 時 00 分～午後 3 時 30 分
場 所	東棟 6 階 教育委員会室
出 席 者	委員 稲葉、飯島、稲木、内川、大石、黒沢、中込 区側 生涯学習推進課長、文化財係長、文化財係主査、文化財係職員 4 名
配 付 資 料	<配布資料> 1 次第 2 令和 6 年度 杉並区指定候補文化財「横倉善次郎家文書」資料 3 区指定・登録文化財の所有者等の変更 4 令和 6 年度埋蔵文化財調査の動向 5 荻外荘関連資料
会 議 次 第	1 生涯学習推進課長挨拶 2 開会 3 審議 （1）令和 6 年度杉並区指定文化財について（諮問） （2）令和 6 年度杉並区指定文化財について（説明・審議・議決） （3）令和 6 年度杉並区指定文化財について（答申） 4 報告 （1）区指定・登録文化財の所有者等の変更 （2）令和 6 年度埋蔵文化財調査の動向 （3）委員による調査・助言について （4）荻外荘について 5 閉会
（意見要旨）	
<u>3 審議</u> （1）令和 6 年度杉並区指定文化財について（諮問） （2）令和 6 年度杉並区指定文化財について（説明・審議・議決） 文化財係職員から配布資料 2「令和 6 年度 杉並区指定候補文化財「横倉善次郎家文書」資料」に沿って説明。また、部会長からも追加指定にふさわしい資料である旨説明あり。異議なく議決となった。 （3）令和 6 年度杉並区指定文化財について（答申）	
<u>4 報告</u> （1）区指定・登録文化財の所有者等の変更 文化財係長が、令和 6 年度に提出された文化財所有者等の変更届につい	

て、配布資料 3「区指定・登録文化財の所有者等の変更」に沿って報告した。

(2) 令和 6 年度埋蔵文化財調査の動向

文化財係職員が、配布資料 4「令和 6 年度埋蔵文化財調査の動向」に沿って、調査の結果を報告した。

(3) 委員による調査・助言について

文化財係職員が、令和 6 年度に委員に依頼した調査・監修等について全体に報告した。

【内容】

- ・ 荻外荘関係のコンテンツの監修。現地で放映している映像展示および AR のシナリオ、歴史的な事柄等に関する記載内容の確認。
- ・ 国登録有形文化財（建造物）に関する登録希望案件に対する調査。
- ・ 区内寺院の仏像調査。

【報告に対する主な意見】

- ・ 調査の際は、複数分野の委員で総合的に調査を進めていく必要がある。

(4) 荻外荘について

生涯学習推進課長が、荻外荘のオープン後の状況について説明した。

【内容】

- ・ 令和 6 年 12 月にオープン以来、1 万 2,000 人を超える来場があった。
- ・ オープンに合わせ、区立郷土博物館本館では「陽明文庫名品展」、分館では「荻外荘」と近衛文麿」の展示を開催し、盛況であった。また、本館では令和 7 年 1 月 11 日から 3 月 9 日まで企画展「近衛家と細川家 着物が紡ぐ家族の記憶」を実施している。
- ・ 来年度は史跡整備に関する報告書を刊行する予定である。
- ・ 持続的に荻外荘に足を運んでもらう工夫が必要。文化財係・郷土博物館として、荻外荘とどのように関わっていくかは今後の課題と考える。

【報告に対する主な意見】

- ・ (質問) 指定管理者による来館者への対応はどのような状況か。
- (回答) ボランティアによる説明をしている。来館者から受けた質問は文化財係にも共有されており、よりわかりやすい説明をするために、改善するような仕組みが出来ている。
- ・ (質問) 来場者の年齢層はどのようになっているか。また、区内小中学校との関わりなどはあるか。
- (回答) 幅広い世代の来館者がある印象。また、小学生は学校見学として博物館に来館しているが、中学生は校外学習に出ることも難しい状況があると聞いている。荻外荘への見学は具体的に話は出ていないものの、実施の際はどのようにカリキュラムに組み込んでいくかという課題もあると考える。

以上